



《医療機能》 救急車受け入れ台数

＜項目解説＞

平成22年度の診療報酬改定では、救急搬送受け入れの中心を担う二次救急医療機関を評価している救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算について、評価が引き上げられました。限られたスタッフと場所で効率的な運用を総合的に判断する救急医療の指標の1つとして救急車受け入れ台数があります。

＜当院の実績＞

【平成24年度】	1, 292件
【平成25年度】	1, 372件
【平成26年度】	1, 227件

＜当院の自己点検評価＞

当院は後志地区における地域センター病院のひとつとして数多くの救急患者さまを受け入れております。

今後も、限られた医療スタッフや医薬品等の医療機能を最大限に活用して、可能なかぎり安全で質の高い医療が提供できるよう努力していきます。

＜定義＞

救急車受入台数

＜算式＞

実数



《医療機能》 新生児のうち、出生時体重が 1,500 g 未満数

<項目解説>

出生時体重が 1,500 g 未満の新生児を極小低出生体重児と言い、NICU（新生児特定集中治療室）における管理・人工呼吸器・点滴や管からの栄養管理など、特別な治療が必要となります。そのため、高度な設備と技術力のあるスタッフを 24 時間体制で配置する必要があり、極めて重症度の高い周産期の患者さまを受け入れていることを表します。

<当院の実績>

【H24 年度】	1,500 g 未満	0 人	【H25 年度】	1,500 g 未満	4 人
	1,500 g ～2,000 g 未満	1 人		1,500 g ～2,000 g 未満	1 人
	2,000 g ～2,500 g 未満	12 人		2,000 g ～2,500 g 未満	15 人
	2,500 g 以上	198 人		2,500 g 以上	207 人
【H26 年度】	1,500 g 未満	0 人			
	1,500 g ～2,000 g 未満	1 人			
	2,000 g ～2,500 g 未満	18 人			
	2,500 g 以上	209 人			

<当院の自己点検評価>

様々な合併症を持つ妊婦や長期薬物服用の妊婦が増加し、これらの妊婦から出生した児の管理法の確立が求められているだけでなく、新生児期に特有の疾患の中には未だその原因が不明であったり、治療やケアの方法が確立されていないものが数々あります。

少産少死の現代において、救命される新生児の質の向上を目指した医療を今後も提供して参ります。

<定義>

自院における出生数で入院を必要とした新生児数
死産は除きます

<算式>

実数



《医療機能》 全手術件数

＜項目解説＞

急性期病院として多くの手術を安全・確実に遂行することは重要な課題です。外科医、麻酔科医、看護師 手術室等のリソース（人的資源）は有限ですが、限られたスタッフと場所で効率的な運用をし、いかに手術件数を確保できるかが重要です。手術スタッフ、設備、手術時間等の効率的な運用を総合的に判断する指標です。

＜当院の実績＞

【平成24年度】	1, 605件
【平成25年度】	1, 486件
【平成26年度】	1, 780件

＜当院の自己点検評価＞

大変厳しい医師体制の環境におかれておりますが、今後も引続き、患者さまにとって最も適した手術を提供することを原則としつつ、より高度な手術を必要とする患者さまに対応できるよう、医師一人一人が更なる研鑽を積んでいきます。

＜定義＞

K920(輸血)以外の手術(※Kコードに限る)の件数。

手術室以外で行われた、内視鏡的手術・心臓カテーテル治療等も含まれます。ただし複数術野の手術等、一手術で複数のKコードを持つ場合も合わせて1件とします。算出に際しては、各病院で管理実態が異なるため手術台帳等ではなく、診療報酬算定件数を用います。

※Kコード：診療報酬点数表の診療行為のうち、手術・処置の領域に割り当てられたコード。
1桁目をKとしているためKコードと呼ばれる。

＜算式＞

実数



《医療機能》 手術全身麻酔件数

<項目解説>

全身麻酔と局所麻酔では、手術のための麻酔としては同じですが、患者さまへの侵襲や麻酔にかかわるスタッフの負担は大きく異なります。ここでは麻酔科医が担当する手術全身麻酔件数を高度な診療の実施を表す指標として掲示します。

体位等により、一手術中に複数の「LOO8 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」が診療報酬算定されますが、一連の麻酔で1件とします。

<当院の実績>

【平成24年度】	370件
【平成25年度】	339件
【平成26年度】	439件

<当院の自己点検評価>

大変厳しい医師体制の環境におかれておりますが、今後も引続き、患者さまにとって最も適した手術を提供することを原則としつつ、より高度な手術を必要とする患者さまに対応できるよう、医師一人一人が更なる研鑽を積んでいきます。

<定義>

全身麻酔の件数

算出に際しては各病院で管理実態が異なるため麻酔台帳等ではなく、診療報酬算定件数を用います。

<算式>

実数



《医療機能》 緊急帝王切開数

＜項目解説＞

分娩中における胎児異常や分娩停止から、急きょ帝王切開に変更する場合（院外からの緊急搬送も含む）に備えて、常に帝王切開を行うための準備が必要です。緊急帝王切開数は、緊急で帝王切開を行える医師・助産師スタッフの技術力、設備、産科・NICU（新生児特定集中治療室）の機能の高さを表わします。

＜当院の実績＞

【平成24年度】	21件
【平成25年度】	30件
【平成26年度】	42件

＜当院の自己点検評価＞

当院では一般診療所では管理できないような、ハイリスク妊娠や婦人科的疾患の管理を行っており、医師・助産師・看護師などのスタッフと協力し、円滑な妊娠・分娩管理が行えるように努力しています。

今後も引き続き、ハイリスク妊娠に対する母子管理を行い、妊産婦の生命・健康を守っていきます。

＜定義＞

「K898 帝王切開術 1－緊急帝王切開」診療報酬算定件数
割合ではなく実数として評価します。

＜算定＞

実数